

【議案第3号】 平成30年度八幡平市一般会計補正予算(第2号)

1773万9千円
増額した補正予算

歳入、歳出それぞれ1773万9千円を増額し、累計224億1737万円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

- ▼観光振興対策事業 280万円
- ▼農業用施設災害復旧事業 320万円
- ▼農地災害復旧事業 92万円
- ▼公共土木施設災害復旧事業 760万円

Q 振興作物推進事業の負担金、補助および交付金にかかわるリンドウ優良品種緊急新植事業費補助金28万5千円の増額補正の内容を伺う。

A お盆や、秋彼岸向けの新品種1年目の管理費が掛かるので、支援するものである。10アール当たり6万6千円を県と市、生産者、その3者で3分の1ずつ負担している。なお、この品種については対象品種が変わる場

合があり、それによって採用される面積などが増えたので、補正をお願いするものである。

Q 牧野管理運営事業の賃金が26万円減額となり、委託料33万5千円増額となっている。賃金と委託料で、ほぼ同じ額が増減となっているが、どういう制度が変わったのか。また、畜産振興をどのように保証していくのか伺う。

A 市営牧野の放牧牛に対する予防接種などの業務は、これまで市の臨時的任用職員で実施してきた。今回、その対象獣医師3人のうち、1人が議員になられ、地方自治法第92条の2の規定に抵触するので、市長の任命・指示に従ってもらうことなどは適切ではない。今後は、直接雇用ではなく、JA新いわてへの委託業務として予算措置をし、そこから対象獣医師へお願いする形で進めていきたい。

【議案第5号】 旧松尾総合支所解体工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

解体工事契約金は
2億9160万円

旧松尾村役場は、昭和51年に建築され、平成26年の新庁舎移転まで松尾総合支所として利用され、42年が経過しました。現在、老朽化が著しく、空き家であり、今後も利用する見込みがないことから、平成31年6月25日までに解体するものです。

Q 旧松尾村役場の屋上に掲示されていた村章「マ」は、村の指針とした農業、鉱工業、観光のシンボルである。跡地に、モニメントとして設置するなど村の歴史を伝え、語り継ぐために、永久保存してはどうか。

A 3町村の町村章や、歴代の首長などの写真は、町村の歴史を物語る大切な資料である。現在、倉庫などに眠っているが、保存方法と活用について検討する。



解体される旧松尾総合支所

Q 村長室などに掲げられていた著名な画家や、書家の絵や、色紙はどう引き継がれているか。

A 備品や、図画などは昨年度に内覧会を開催し、希望者に譲り渡した。

Q 今後、公共施設の解体工事が増加すると思うが、基金の積み立て計画や、予算の見通しをどう考えているか。

A 合併した町村では、老朽化した公共施設の取り壊しは課題であるが、過疎債の対象となり、市の持ち出し資金は3割で済む。今回の事業にも、過疎債1億円を充当する。公共施設管理計画を策定し、一時的に大きな負担を伴わないよう進めていく。また、これらに対応する基金は、現有しており、有効活用に努めていきたい。

一般質問

9人が市政を問う

井上 辰男 議員 (八起会) ……05

- ・市民からの要望・意見について
- ・移動期日前投票車の導入などについて

渡辺 義光 議員 (市民クラブ) ……06

- ・市道の改良、整備について
- ・八幡平ドラゴンアイと地元学について
- ・老人クラブ活動への助成支援について

関 治人 議員 (八起会) ……06

- ・りんどうの生産量拡大と人手不足について
- ・地域性を生かした学校教育について

立花 安文 議員 (八起会) ……07

- ・林業振興について
- ・安代林業センターについて

羽沢 寿隆 議員 (八起会) ……08

- ・自然エネルギーの活用について
- ・観光資源の活用状況について

北口 功 議員 (無会派) ……08

- ・公共関与型産業廃棄物最終処分場の整備について
- ・河川改修の実情と国土強靱化地域計画の策定に向けた市の取り組みについて

熊澤 博 議員 (自由クラブ) ……09

- ・畜産振興について
- ・観光振興について

高橋 悦郎 議員 (日本共産党) ……10

- ・大更駅周辺整備事業について

米田 定男 議員 (日本共産党) ……10

- ・子育て支援策の拡充について
- ・市人口ビジョンについて



井上辰男 議員 (八起会)

か検証していく。

問 平成30年3月末の空き家戸数および特定空き家戸数を伺う。

市長 空き家613戸、特定空き家候補127戸である。

問 空き家は所有者の責任だが、行政として何か対策

を考えているのか。

防災安全課長 所有者に状況を知らせ、認識してもらうことが大事と考えている。

問 利活用可能な空き家への支援、取り組みを伺う。

防災安全課長 今年度中に、空き家バンク制度を創設予定であり、子育て世代への

支援につながると考える。

問 南北線から市役所への案内標識が分かりづらいので、改善できないか。

総務課長 現在は、まだ考えていない。砂田永持線拡幅改良のタイミングに合わせ、考えていきたい。

旧西根町民プール跡地 宅地分譲などで活用する



旧西根町民プール跡地の現況

移動期日前投票車導入などについて

問 移動期日前投票車導入について検討と課題を伺う。

市長 投票区再編前後での投票状況を総括し、選挙管理委員会が中心となり、効果などを今後検証していく。



わたなべよしみつ
渡辺義光 議員
(市民クラブ)

問 選挙活動で市内全域を回り、合併13年の市の現状と、地域の声を聞くことができた。市民の最も多い要望は、市道の舗装や生活道の整備であった。舗装のごぼこや損壊が各所に見られる。早急な整備や、安全対策についての考えを伺う。

市長 軽舗装の要望は、現在68件あり、毎年約2千円を舗装している。社会資本総合整備交付金の対象事業として、5千万円ほどの舗装補修も実施している。今後も、国・県の有利な交付金制度を導入し、積極的に整備を進めていきたい。

問 人観光客がSNSに投稿し、テレビや雑誌に取り上げられた。商標登録に向けて観光協会が手続き中である。PR活動や特産品の開発など、販売促進を考えていく。

市民要望の多い道路整備 優先度を考慮し順次実施



着々と進む道路改良工事(大更)

ドラゴンアイ

問 八幡平ドラゴンアイが、国内外から注目を集めている。地元の龍や水伝説との結びつき、特産品開発、「地元字」による市内の宝探しを展開してはどうか。

市長 65歳以上の高齢者は約1万人おり、35%が利用証交付を受けている。高齢者の健康増進のための施策であり、クラブ全員に拡大することは考えていない。

市長 ドラゴンアイを外国

問 高齢者等温泉館入浴利



せき ひろと
関 治人 議員
(八起会)

リンドウ生産量拡大政策 品種改良および国際戦略



安代リンドウ生産現場

問 リンドウの生産量は、過疎化や高齢化による人手不足のため伸び悩んでいる。品種改良による人手不足対策、海外事業による販売拡大、研修生受け入れなど、取り組み状況を伺う。

農林課長 認定農業者への期待する。研修生について、現在、八幡平市内では受け入れ実績はないが、JAに取り次ぎする用意はある。

問 地域性を生かし、冬の体力づくりのため、スキー授業の推進の考えを伺う。



たちばなやすふみ
立花安文 議員
(八起会)

問 来年4月から、森林経営管理法が施行されることから、林業専門職員の採用を検討してはどうか。

市長 1千万円前後を見込んでいます。

問 安比で、環境保全活動をしている市民団体の活動拠点施設として、活用を検討してはどうか。

林業専門職員の採用

担当職員の増員を検討



松くい虫被害が心配なアカマツ林



はざわ ひさたか 議員 (八起会)

問 八幡平市は、大自然に恵まれた観光資源の宝庫であり、その観光資源を効果的に生かしているか伺う。

にはない利点を、われわれは持っているわけで、それを具現化して、誘客に結び付けて行くべきである。皆さんからも、取り入れるべきいいアイデアがあったら、積極的に提案してもらいたい。

新たな観光資源掘り起し

豊富な観光資源の宝庫

荒屋新町駅貨車転車台の活用

問 荒屋新町駅にある電動上落式貨車転車台は、明治期の輸入転車台として現存する大変貴重なものであると聞いた。新たな観光資源として、取り入れるべきか

思っている。

市長 昨年からJR東日本と協議を重ねていて、花輪線の運行、また安全面などに支障がないか検討中である。地元の皆さんからも、JRに向けて要望書を出すなど、熱意を示すことが大変重要であると考える。



荒屋新町駅ドイツ製貨車転車台

不動の滝の桜松線拡張計画

問 大型バスなどの乗り入れが困難であるが、道路整備計画はあるか。

市長 現在、鴨志田線の着工を目指しており、桜松線への整備はその後になる。



きたぐち いさお 議員 (無党派)

問 県が建設予定の産業廃棄物最終処分場(椴沢地区)工事における安全対策と、メリット・デメリットについて伺う。

び産廃車両は、市道新時森線のみを通行するよう事業団が指導徹底していく。次に、処分場の供用開始後のメリットについては、上水道整備、市道新時森線の拡幅・歩道設置・変則交差点の改良、用水路の改修、赤川大橋の架け替えなど、県

産廃処分場の安全対策

道路整備を進め安全確保



産業廃棄物最終処分場建設予定地

河川改修の実情と市の取り組み

の財政支援により実施される。また、市内事業者の廃棄物運搬経費の削減、固定資産税の増収などが期待できる。デメリットとしては、車両などの往来増による安全面への影響があると考えられる。

問 市内河川改修の実情と、国土強靱化地域計画の策定に対する取り組みを伺う。

市長 県への河川改修要望については、安比川と松川の改修を要望している。安比川では、岩屋・岩木地区と小屋畑地区の2カ所を要望している。また、松川では、昨年度の豪雨災害で被災した5カ所の災害復旧について、本年8月から順次実施していく。今後とも、継続地区の事業促進などを強く要望していく。



くまざわ ひろし 議員 (自由クラブ)

問 TPPなどの農畜産物市場の開放・自由化の波は、熾烈を極めている。その反面、平成29年の畜産物の輸出は、全ての品目で伸び、特に牛肉は、前年比41.4%増である。産地間競争に勝つための、キャトルセンター事業の明細と、管理

運営について伺う。

輸出も見据えた畜産振興

地域内一貫生産体制確立

については、新しいわて農協が行うこととしている。

日本短角種の振興

問 牧野組合と放牧事業を統合する考えはないか伺う。

市長 民間牧野を含めた統合の可能性も考慮し、公共牧野再編の検討を進めている。

市民優遇の観光を

市長 利用しやすい工夫やPRを進め、市民自らが情報発信し、さらなる誘客につながるかと考えている。また、市民参加での外国人観光客受け入れなどの講座の検討で、市民一体となった観光受け入れの醸成を図っていききたい。



種雄牛と雌牛



たかはしえつろう
高橋悦郎 議員
(日本共産党)

大更駅前の商店街づくり

27区画中4割で話し合い



工事が進む大更駅周辺整備事業

問 大更駅周辺整備事業で、街づくりの「基本的方向性」が、依頼していた市商工会から報告された。その中で、特に「駅前顔づくり施設」の内容を伺う。

副市長 駅前顔づくり施設は、図書館・子育て支援センター・市役所支所などが、入る施設として提案を頂いたが、JA西根支所が、市役所西根総合支所に移転の方向だ。移転するJA西根支所に、市役所支所を考えている。

問 図書館や子育て支援センターを、大更駅前の顔づくり施設に設置することに、所管課はどのように受け止めているのか。

教育総務課長 図書館の移転について、規模や機能について協議に応じていく。地域福祉課長 新しい施設を作ってもらったのありがたい。役割が他の施設と重複しないよう考えていく。

問 工事が進んでいる都市計画道路の、沿道への商店街づくりは進んでいるのか。

建設課長 地区内の商店再開用として、16区画を用意し、うち11区画で話し合いが進んでいる。また、外部から新規に店舗を建てる区画として、10区画を用意しているが、まだ具体的には一件も決まっていない。

問 大更駅前道路沿道に商店を建てる際に、何か支援策があるのか。

商工観光課長 店舗建設や備品購入に、上限で1千万円の補助金制度を用意したが、現在、申し込みはない。



まいただお
米田定男 議員
(日本共産党)

給食費無料化の検討

市民の合意形成が必要



西根地区学校給食センター

問 学校給食費の無料化が、全国的に大きく進展しつつある。また、国の政治においても、幼児教育・保育の無償化、そして高等教育の無償化なども進んでいる。つまり、子育て支援の強化、教育の無償化が政治の大きな流れになってきている。

教育長 国の調査結果から、この証左である。ましてや憲法第26条では、「義務教育はこれを無償にする」と規定している趣旨を尊重するのが政治の責任である。学校給食費の無料化について、具体的に検討すべきである。

問 学校給食費の無料化が、その成果や課題を把握し、本市としてどういう支援策が実現可能なのか、総合的に検討する必要がある。何よりも、学校給食費無料化が市の施策の中で優先されることについて、市民の合意形成が図られることが前提である。

問 市民の合意形成は当然である。問題は、誰が合意形成を図るイニシアチブをとるかである。教育委員会がそれを担うことでこそ、合意形成が進展するといえる。その場合に、学校給食は子どもに対する単なる食事の提供ではなく、給食の

意義について明確にして取り組むことが課題となる。

教育総務課長 給食は、教育の一環としての食育の部分が大きなウェイトを占める。

議会の動き

(5月1日～7月26日)

5月

- ▶ 1日 八幡平市議会議員当選証書付与式
- ▶ 9日 市議会事務連絡会議、会派代表者会議
- ▶ 16日 会派代表者会議
- ▶ 17日 平成30年第2回臨時会(初議会、～18日)、会派代表者会議、議員全員協議会
- ▶ 18日 総務常任委員会、教育民生常任委員会、産業建設常任委員会、議会広聴広報常任委員会、議会運営委員会、市政調査会臨時総会

6月

- ▶ 4日 予算などに関する議員研修会
- ▶ 6日 教育民生常任委員会協議会
- ▶ 7日 議会運営委員会
- ▶ 8日 総務常任委員会協議会
- ▶ 12日 産業建設常任委員会協議会
- ▶ 14日 平成30年第2回定例会(～21日)、議会広聴広報常任委員会
- ▶ 18日 市政調査会理事会
- ▶ 19日 議会運営委員会
- ▶ 21日 市政調査会総会

7月

- ▶ 3日 議会広聴広報常任委員会
- ▶ 4日 平成30年7月盛岡地区広域消防組合議会臨時会
- ▶ 10日 議会運営委員会
- ▶ 11日 大阪府茨木市議会会派視察来庁、松西会・関善次郎・工藤直道・会派議員研修(～12日)
- ▶ 17日 委員長会議、平成30年第3回臨時会、議会改革推進会議、議会広聴広報常任委員会
- ▶ 19日 産業建設常任委員会協議会
- ▶ 24日 平成30年度雫石東八幡平線道路促進協議会総会
- ▶ 25日 第65回岩手地区議会議員大会
- ▶ 26日 議会広聴広報常任委員会